

G坂本五輪内定 活躍願い垂れ幕

母校の八学光星

八戸学院光星高校は24日、同校OBでプロ野球巨人の坂本勇人が、東京五輪の野球日本代表に内定したことを祝う垂れ幕を校舎に掲示した。野球部員たちは「世界で活躍する大先輩がいることを誇りに思う。優勝してほ

しい」と応援した。垂れ幕は縦10段、横0・8段で、「SAMURAI JAPAN 東京五輪野球日本代表 巨人坂本勇人」と書かれている。同日昼、野球部の3年生32人や仲井宗基監督らが校舎前に集合。部員らが見守る中、吉川真一（まさと）主将（3年）が垂れ幕を取り付けた。

吉川主将は「坂本選手は打撃技術が高く、守備も柔軟で、とても尊敬している。全力を尽くしてほしい」と話した。仲井監督は「高校時代から負けず嫌いで、技術向上のための努力を惜しまない選手。世界一に貢献し、子どもたちに勇気を与えてほしい」とエールを送った。

（工藤槇子）



垂れ幕の前で、東京五輪の野球日本代表に内定したOBの坂本にエールを送る野球部員たち